

## 『東アジア研究』執筆要領

### 1) 利用言語

原稿は日本語を使用し、横書きで作成する。

### 2) 原稿枚数

原稿の枚数は40字×30行を1枚と換算して、論文が15～20枚（注・図表・参考文献を含む）、研究ノートが10～20枚（注・図表・参考文献を含む）、書評が2～5枚とする。原稿に挿入される図表については、大小にかかわらず3点を1枚と換算して、全体の枚数から差し引く。

### 3) 見出し番号の表記

本文内の各節章の見出しにつける番号はⅠ、Ⅱ、Ⅲ・・・とし、その下の款項には1.、2.、3.・・・を用いる。さらにその下の項には(1)、(2)、(3)・・・を用いる。最初に「はじめに」、最後に「おわりに」を置いてもよい（番号は付けない）。

### 4) 句読点の表記

句読点は全角の「、」「。」を用いる。

### 5) 括弧の表記

括弧は原則として全角とする（欧語表記および注記を示す記号に用いる片括弧を除く）。

### 6) 数字の表記

数字は、熟語など特別な場合を除き半角のアラビア数字を用いる。4桁表記以上となる場合は、コンマ(,)を用いる。また、「兆、億、万」などの漢数字を用いてもよい。

### 7) 年号の表記

年号は原則として西暦を用いる。必要に応じて、西暦の後に元号などを丸括弧に入れて併用してもよい。

8) 度量衡の単位は、原則として記号（mkg など）を用いる。

### 9) 参考文献の表記

本文と注記で用いた全ての文献を「参考文献」として本文の最後の一括して表示する。参考文献の表記は以下のとおりとする。

(邦語の書籍) 編著者名(発行年)、『書名--副題』出版社。

(邦語の雑誌論文) 著者名(発行年)、「論文名--副題」『雑誌名』巻数(号数)、〇-〇ページ。

(邦語の書籍中の論文) 著者名(発行年)、「論文名--副題」(編者名『書名--副題』出版社)、〇-〇ページ。

(邦訳書) 編著者名(発行年)、『書名——副題』(訳者名、原著は〇年発行)出版社。

(外国語の書籍) 編著者名(発行年)、書名：副題、発行地：出版社。

(外国語の雑誌論文) 著者名(発行年)、「論文名：副題」雑誌名、巻数(号数)、pp.〇-〇。

(外国語の書籍中の論文) 著者名(発行年)、「論文名：副題」編者名ed.、書名：副題、発行地：出版社、pp. 〇-〇。

## 『東アジア学会』掲載論文の転載（複製利用）に関する規定

1. 原著者が『東アジア研究』に掲載された文章の全部または一部を他誌、または自著出版のさいに転載する場合には、事前に企画委員長に申請しなければならない。企画委員会は特段の不都合がない限りはこれを受理し、複製利用を許可する。
2. 転載（複製利用）を行いたい者は、申請書を東アジア学会のホームページからダウンロードのうえ必要事項を記入し、事務局にメールで送付する。
3. 複数の論文をまとめて出版するなど、転載先媒体が同一で、転載希望論文が複数にわたる場合は別紙に記入する。転載先媒体が複数にわたる場合は、転載先媒体の数だけ申請書を提出する。

本規定は2019年7月16日から実施する。